

ちくたく

地区拓

VOL.22

2015年3月17日発行

岡輝中学校区学校運営協議会 情報誌編集委員会

ちくたく ちくたく...

きのうから明日へと 時が刻まれ 人もまちも
夢をつないでいく 今までも、これからも...

ちくたく ちくたく... 少しずつ
ちくたく ちくたく 大きく地区拓...

学校園運営に参画してみませんか 文責 片山安基夫

募集

岡輝中学校区の学校園は、全国に先がけ、平成14年度～16年度に文部科学省から「コミュニティ・スクールに関する法案づくりのための実践研究」の指定を受けました。その後、

「コミュニティ・スクールを全国に広めるための推進事業の指定（平成17・18・20年度）」、「岡山市地域協働学校1号（現在9年目）」の指定を受け、コミュニティ・スクールの推進に向けて中心的役割を果たしてきました。

現在、岡輝中学校区の「コミュニティ・スクール」「シニアスクール」「協同学習」などの活動は、県内はもとより全国的にも注目を集め、多くの視察を受けるようになってきました。こうした中、取り組みの継続のため、いろいろなご意見やご提言をしていただける地域からの人材が求められています。この度、平成27年度の組織作りのために、地域から学校運営に参画していただける方の公募を行います。

応募資格

地域住民の皆様からの募集なので、岡輝中学校区に居住されておられる方ならどなたでも応募することができます。下記の応募要項により、ご応募ください。なお、岡南幼稚園、清輝小学校、岡南小学校、岡輝中学校からは、PTAより代表を1名選出していただきますが、地域住民として応募していただくこともできます。

応募要項

- ① 応募書類
 - ア) 氏名・年齢・生年月日・現住所・電話番号・職歴（過去の地域活動やPTA活動の経歴）などを記述したもの（様式不問）
 - イ) 作文「私の思い」（応募の動機を400字詰め原稿用紙1～2枚程度にまとめたもの）
- ② 提出先 〒700-0867 岡山市北区岡町12-17
岡輝中学校内「岡輝中学校区学校運営協議会」宛
- ③ 締め切り日 平成27年4月24日（金）
- ④ 問い合わせ先 岡輝中学校長 片山 安基夫
TEL. (086) 224-0358

応募後の動き

応募された方は、岡輝中学校区学校運営協議会（以下、運営協議会という）の地域部会において協議の上、推薦されると運営協議会の委員として選出されます。選出された方は、運営協議会の地域部会に所属し、平成27年6月に開催される新委員による運営協議会から参加していただきます。

創刊準備号～懐かしい「ちくたく」の表紙

VOL.0 創刊準備号 2004年5月発行 表紙



岡輝エリアマップ



VOL.0 創刊準備号 2004年5月発行 中面 (岡輝学区エリアマップ)

VOL.1 2004年7月発行



VOL.2 2004年12月発行



VOL.3 2005年3月発行



VOL.4 2005年9月発行



VOL.5 2005年12月発行



VOL.6 2006年3月発行



平成26年度岡輝中学校区学校運営協議会委員

頑張る学校応援事業優良実践校認定にあたって…

「頑張る学校応援事業優良実践校」選定に思う。

岡輝中学校校長 片山 安基夫

1 始めに

このたび、岡輝中学校区が、「平成26年度頑張る学校応援事業優良実践校」に選ばれました。私は、この選定に際して、

- ・岡輝中学校区として選ばれたこと
- ・岡輝中学校区の長年の取組が認められたこと

を本当に嬉しく思います。なぜなら、地域の皆様方、保護者の皆様方、子どもたち、教職員の長年の「つながり」が評価されたと思うからです。

そこで、今回、その「岡輝中学校区」の長年に渡る取組を振り返ってみたいと思います。

2 二本の柱

現在の岡輝中学校区には、次の二本の柱、

- ☆学区でつなぐ、地域協働学校
- ☆みんなでつなぐ、協同学習

があります。この根底にあるのは、学校園を「地域の中にある学校園」と捉える考え方で、学区六校園（岡輝中・清輝小・岡南小・岡南幼・清輝保・岡南保）で「0歳から15歳までの責任のある保育・教育」（保・幼・小・中の連携）の実践を通し、学校園・地域・家庭が一体となって「子どもたちが愛されていると実感できる学校づくり・地域づくり」を目指しています。

また、「協同学習」に関しては、岡輝中が平成19年度から、清輝小・岡南小は平成20年度から、取り組んでいます。すでに清輝保・岡南保・岡南幼では、協同学習的な考えを基盤にした取組が行われており、「連携から一貫へ」の道筋ができています。このことにより、「生徒指導の原点は授業である」という新たなビジョンを持って、学区全体で学習活動を進めています。

3 「岡輝地区流学校改革」の歩み

(1) 第一期

【荒れの克服】平成10年～13年

「学校丸抱えの生徒指導から地域全体で考える生徒指導に」

これまで、学校丸抱えで生徒指導を続けて

きたため、地域の人々も学校への協力方法がわかりませんでした。そこで、まず、保護者や地域の方々も参加するイベントを開催し、学校のありのままの姿を見てもらおうと考えました。イベントの実施にあたっては、地域の協力をあおぎ、教師や保護者らで結成した「岡輝中学校区地域学校協議会」が運営の中心となりました。これには、PTAのOBの協力もあり、この流れは、現在も続いています。

イベントに参加することで、自然と学校の情報は地域にも出て行きます。当初は「学校が荒れるのは、教師の指導力の問題」と考えていた人たちにも、生徒や教師の頑張りや大変さが理解してもらえるようになりました。イベントの中には「みどりの林檎」「イメージアップ岡輝!」「つながれ岡輝!」「サマークリーン作戦」等、地域・学校園が一体となった活動も数多くあります。

(2) 第二期

【学校運営の組織化】平成14年～平成18年

「文部科学省指定研究・岡山市地域協働学校指定を核として」

多くの学校がそうであるように、研究指定については「生徒指導に手一杯で、研究まではとても無理」という考えでした。しかし、その発想を転換し、「研究指定をきっかけに学校を変える」方針に変更しました。

これらの研究を進める中で、「生活指導上の課題の克服」を掲げ、安心できる学校園生活や不登校と学力不振への克服を中心課題として、取組を進め、現在は、毎月一回（8月を除く）「学校運営協議会」を開催しています。また、この過程で「シニアスクール」「地域情報誌『ちくたく!』」が誕生し、学校園運営の大きな力となっています。

(3) 第三期

【授業で学校を変える】平成19年～

「協同学習の推進・個を大切に、認め合い、学び合う」

部活動や学校行事の充実等、荒れをなくすた

めに様々な取組をしましたが、根本的な解決にはなりません。低学力・不登校・授業に入れない生徒たち…。生徒指導を考えた場合、大きな課題となるのがこれらの課題です。そんな中、出会ったのが「協同学習」です。「協同学習」を推進していくために、校内研修・先進校の視察の充実はもちろんのこと、

・六校園夏期合同研修会

・市内中学校四校合同研修会

を実施し、広がりや充実を目指しています。また、「目の前にいない児童・生徒は指導できない」という考え方で、児童・生徒を学校・教室に受け入れる方針をとり、現在、不登校や授業に入れない児童・生徒の数は減少傾向にあります。

4 終わりに

このように学校改革を進めている岡輝中学校区ですが、学校園では、「低学力に対する力補充」「家庭での生活習慣・学習習慣の改善」「人間関係の構築の苦手な子どもたち」等々、多くの課題を抱えています。これらの課題に日々、悩みながら、それでも「つながる」ことで、一歩ずつ、改革の歩みを進めていきたいと考えています。これからもご協力をよろしくお願い致します。



「イメージアップ岡輝! 2015」

生徒・保護者・教職員・地域の方が参加の学区行事。今年は「HUG（避難所運営ゲーム）」に挑戦!

地域を開拓…地区拓…ちくたく。

学校運営協議会ちくたく編集部 編集長 中原 一郎



「ちくたく」の編集に携わって早いもので11年がたちました。情報誌の名前、表紙のデザインを編集委員の方々とおあでもない、こうでもないと考えたのが懐かしく思い出されます。

ちくたくとは…地域を開拓する意味もあります。地域を開拓していくと…。今回の22号発行までに、学区で活躍されている多くの方が誌面に登場しました。保幼小中や南校で頑張っている児童や生徒さん、皆さんとても良い顔をしていました。これから素敵なお顔を求めて開拓していきます。

現在、岡輝学区では生徒数がドーナツ化現象で減っています。私たちは学区の良さを多くの方に知って頂き、生徒が一人二人でも増えたらと思って活動を続けてきました。これからも伝えていきます。その活動をするために一人一人がどんな参加方法でも是非参加してください。力を合わせて頑張っていきたいと思います。『フェイスブック (FACE BOOK)』で「岡山市清輝学区」の名前で写真等を含め投稿しています。是非見て下さい。

地域のつながりは 地域子ども達を育む

岡輝中学校PTA会長 末長 誠



本年度は「頑張る学校応援事業優良実践校」に我が岡輝中学校区が選ばれました。私は「岡輝中学校区」として選ばれたことを誇りに思います。

なぜなら、我が岡輝中学校区の長年の取り組みである「つながれ!」が評価されたと思うからです。我が中学校区には、「みどりの林檎」、「イメージアップ岡輝」、「つながれ岡輝」等、学校園と地域の連携によって成り立っているイベントが数多くあり、このような地域行事へ参加することで、地域の一員であることを実感できると思います。

さて、地域情報誌「ちくたく」は学校園の行事や地域の取り組みをタイムリーにお知らせしています。今、学校園で何が行われているかが身近に感じることができます。「子どもたちが愛されていると感じる地域作り」の一翼を担っていると思います。

「ちくたく」のような地域情報誌を発行している中学校区はあまりなく、我が学区の誇る取り組みです。今後是非継続していただきたいと思っています。

頑張る学校応援事業優良実践校認定にあたって…

「過去」と「現在」と「未来」

岡輝中学校生徒会長 小松原 瑞基



岡輝中学校二年の小松原瑞基です。昨年11月から生徒会長を務めております。今回、「ちくたく」に、生徒会について紹介できる機会をいただきましたので、生徒会活動の「過去」、「現在」、そして「未来」について書きたいと思います。

まず「過去」です。これは、先輩方の取り組みのことで、緑化活動、オアシス運動、岡輝中学校キャラクターの作成、協同学習への意識の向上などがあります。緑化活動とは、西川緑道公園・枝川緑道公園内の花壇に花を植える活動です。生徒会で代々続いている取り組みで、表彰されたこともあるそうです。オアシス運動とは、挨拶運動のことで、毎週水曜日の朝と放課後に行っています。岡輝中学校キャラクターの作成とは、岡輝中学校のキャラクターをつくろうという取り組みです。生徒の皆さんの投票により「Kパン」というキャラクターに決定しました。協同学習への意識の向上とは、前生徒会長の公約だったものです。毎月自分の協同学習の目標を決め、それを書いたシールを机の左上に貼っておく取り組みです。月末にその目標の反省を書くことにより、さらに協同学習への意識が高まったと思います。

次は「現在」です。これは、僕たち今の生徒会で取り組んでいることです。まず、先代の生徒会で取り組んだことは継続しています。緑化活動などの行事はもちろん、オアシス運動や協同学習の目標を決める取り組みも引き続き行っています。清輝児童センターのクリスマス会やしゃべり場などの行事にも、先方の実績を受け継ぎ、参加しています。岡輝中学校のキャラクターについては、

毎月発行する生徒会新聞に必ず載せるようにしています。そして、僕たちが新たに始めたことは、「めざせ！100万人の行動宣言」という取り組みです。これは、僕たちの公約だったもので、いじめに対して「見て見ぬふりをしない」「いじめのきっかけをつくらない」などの行動宣言を書いてもらうものです。これを校内に掲示し、いじめについて意識を高めてもらおうと考えています。

最後に「未来」です。これは、未来に向けての自分たちの思い、未来の岡輝中学校への願いです。これからも僕たちは公約達成のためにさまざまな取り組みを考え、実施していきますが、その取り組みを、代々受け継いでいけるような、いい取り組みにしたいと思っています。僕たちがそうであったように、このような取り組みは継続していくことにより、もっと効果上がるからです。さらに、自分たちが考えた取り組みを、より良い形に変えていってくれると、いっそううれしいです。また、自分達が考えた取り組みで、この岡輝中学校がもっと良く、素晴らしい学校になってほしいと思っています。どんどん受け継いでいって岡輝中学校がより良くなっていく。そんな取り組みをしたいと考えています。

まだ僕たちには、任期が半年ほどあります。この間に、自分ができることを精一杯頑張っていこうと思います。半年後、この岡輝中学校がもっと素晴らしい学校になることを目標として、残りの任期を有意義なものにしていきたいです。



岡輝中学校
生徒会
キャラクター
「Kパン」

“ドキドキの伝統”よ永遠であれ!!

玉野市立荘内中学校教諭 木村 咲恵子 (平成12年度卒業)



「みどりの林檎」そう聞いて、ドキドキしました。一気に中学生の自分に戻った気がして、何とも気恥ずかしい気分が……。『みどりの林檎』のインタビューのご依頼をいただき、思いがけず、当時の自分と再会することになりました。私たちが卒業した後、この行事が「伝統」として母校に残っていることに感動を覚え、また、それを引き継いでくれている後輩の皆さんに感謝の気持ちでいっ

ぱいになりました。

「みどりの林檎」の名前の由来。「林檎」は「命の象徴」。「みどり」は「未熟な私たち中学生」を意味しています。さらにもうひとつ。「この行事を通じて、皆で真っ赤な林檎になっていこう。」そんな思いも込めました。緊張、後悔、失敗、焦り。ドキドキするって何だかこわい。でも、成功、挑戦、達成、懐かしさ。ドキドキするって気分がいいです。これからも母校に心がドキドキするような素晴らしい「伝統」が残りが残りますように。

「出会いの中で」

東京都小学校教諭 豊福 美菜 (平成14年度卒業)



みなさんには、「憧れの人」がいますか？ 私は岡輝中学校に通っていた頃、「憧れの人」がいました。それは、授業で出会った地域の先生です。私が中学3年生の時に地域の方にけん玉や人形劇を教えていただく授業がありました。私は演劇を選び、演劇部の顧問をしていた地域の先生と一緒に脚本を書き、上演をしました。原稿用紙2枚分の短い劇でしたが、たくさんアドバイスをいただきながら、一生懸命演じたことを今でも覚えています。地域の先生の演劇に対する熱い思いに触れて、私も演劇の魅力にどんどん引き込まれました。私もその先生のように、熱い情熱を語れるほど何かに打ち込める人になりたいと思いました。

私は今、小学校の先生として働いています。そして、中学以来続けてきた演劇の経験を生かして、子どもたちと劇を作って発表しています。私も地域の先生のように演劇の魅力を伝える立場になれたのです。中学校の時の憧れが今の私につながっていると思うと、何気ない日々が未来の自分にどうつながっていくのか分からないものだと感じます。

岡輝中学校は地域、学校、家庭との絆が非常に深い学校だと思います。授業を通して、地域の行事を通して、たくさんの人とつながっていけることが素晴らしいところです。みなさんも、出会いを大切に、たくさん「憧れの人」を見つけてください。きっとその、「あんな風になりたい。」という憧れが、未来の自分の大きな糧になると思います。

助け合うって素晴らしい!!

株式会社天満屋ホテルアンドリゾーツ勤務 宮谷 ゆりあ (平成21年度卒業)



新成人の集い実行委員を通して沢山のご協力、ご支援をいただいて、感謝の気持ちでいっぱいです。少ない実行委員で大変でしたが、最高の成人式にする！という一つの想いに向かって突き進むみんなの心が合わさって一生に一度の成人式を成功させることができました。

「人はみな、助け合って生きている」

一人では決して無理でしたが、みんなが居たから最高の成人式になりました。協同学習でもみんなと協力することで理解ができるのではないのでしょうか。今までお世話になった方々に恩返しをし、社会貢献できるように日々精進します。

広めよう！学区の魅力

清輝小学校PTA会長 二神 太一



この1年間、多くの人とふれあうことができ、それが縁となって、様々な活動に参加することができました。その中でも一番印象に残っているのが「西川・枝川をきれいにし隊」に参加できたことです。枝川で蛍を見つけたときは感動しました。岡輝学区には、魅力的な活動がたくさんあります。ただ、その取組を知らない方もたくさんおられると思います。私も昨年度までは、その一人でした。「知らなければ参加できない。ならば、たくさんの方に知ってもらおう。そのために私自身にできることは…？」まずは、学校や地域の活動に参加し、その魅力を多くの方に伝えていきたいと思っています。

学区を結ぶ優しさの輪

岡南小学校PTA会長 中川 俊彦



現在PTAをしていて、地域の皆さんが子どもたちのことを本当によく考えて下さっているということを感じています。登下校見守り、ピオトープ、岡輝学区の様々なイベント、これらが子どもたちの安全と健全な育成にどれだけ繋がっていることか。本当に感謝です。

私たちPTAは温かい地域の皆さんがいることのありがたさを保護者や子どもたちに伝え、サマーグリーン作戦などの地域の取り組みに関わっていきたいと思っています。個々の関係が希薄だと言われる中、岡輝学区は関わり合う関係性があると思います。「ちくたく」を通してもっと関わり合いの輪が広がるよう、私たちPTAも頑張っていきたいと思っています。

頑張る学校応援事業優良実践校認定にあたって…

夢は叶う!!

岡輝中学校校長 片山 安基夫



教師は「種をまく人」だと思います。生徒の心の中に、たとえ一粒でもいい、何か美しい種をまいて、それが芽を出すことを信じている人、それが教師です。どの種をどのように育てるかは、生徒が選ぶべきものだと思いますが、その種を植え、育てる心の条件は、生徒一人一人が身につけておく必要があるのではないのでしょうか。私はその心の条件を「心を開く」と呼

んでいます。生徒全員が「心を開く」ことが出来れば、私の夢である「みんなが笑顔になれる学校」が生まれると思います。ここで言う「みんな」とは、生徒・保護者・教職員・地域の方々の全員を指します。残念ながら、今までの私の教員生活で叶ったことのない夢です。だからこそ叶えたい、この岡輝中学校区だからこそ叶えることができるかもしれない夢だと考えています。みんなが「心を開いて」、「つながる」ことを大切にしたいとき、「みんなが笑顔になれる学校」という夢は、必ず叶うと信じています。

よりよい岡輝学区をめざして!

清輝小学校校長 河本 明



ご縁あって2度目の清輝小勤務です。8年ぶりに帰ると「地域学校協議会」は「学校運営協議会」になり、コミュニティスクールの研究を岡輝学区という大きなスケールの中で、ダイナミックに進化発展させていることに驚くとともに誇らしく感じました。

一方、以前活躍された方を見かけなくなったり、かつての取組が役目を終えて無くなっていたり寂しさがある反面、新しい人が入り今までの取組を充実させつつ先進的な新しい活動も始まっていることに岡輝学区の力強さを感じます。

地域・保護者と学校園とが三位一体になり、さらに繋がりを深めながら発展させてよりよい岡輝学区を目指していきましょう。

つながりを大切に

岡南小学校校長 西森 治



○下駄箱のくつが揃っている全校の子どもたち
○あいさつの輪を広めるために、あいさつ運動に参加している六年生と一年生
○校長室では、「かけ算認定証」をもらうために緊張しながら九九検定に挑戦している二年生

全ての学年の子どもたちを紹介できませんが、岡南小学校の学校教育目標である「かがやいている子どもたち」の姿をたくさん見ることが出来ます。かがやいている子どもがいる学校には、元気な子どもたち、元気な先生がいるはずです。そのような岡南小学校をこれからも教職員と保護者の皆様、地域の皆様とつながりを大切にしながら、一緒につくっていきたくと考えています。

心と体の栄養を!!

清輝保育園園長 森延 淑江



私は、26年度4月から清輝保育園で再び仕事をすることになりました。平成18・19年度の2年間過ごしていた園なので、懐かしく門をくぐりました。7年の月日は施設内外だけではなく、いろいろな面で変化が見られました。大きく成長した小学生や中学生に会えたり「先生戻ってきたんだ。」と優しく声を掛けてくださる保護者の方々。

以前と変わらずお元気そうな地域の方々。月日は流れても変わらない絆を感じました。保育園の明るく素直で、元気な子どもたち。岡山市の中心地にしては、広い園庭、明るい園舎と恵まれた環境の中でのびのびと過ごしています。0歳児から5歳児までの子どもたちが、日中お家の方と離れて過ごす貴重な時間。「心と体の栄養」を満たすことができたらと思育しています。これからも地域の方の協力を得ながら子ども・保護者・保育士が元気で明るい清輝保育園でありたいと思っています。

地域の方々と共に

岡南保育園園長 秋山 玲



「この学区の良いところは、地域の皆さんがとてもよく関わってくださるところです。」と常々、宣伝している岡南保育園に、2度目の転勤で来てみると、幼稚園との境にあったフェンスは撤去され、記念に「仲良し花壇」ができ、保育園のブランコは、「仲良しブランコ」として幼稚園に移動されており、幼保連携の礎ができていました。驚きでした。後で、お聞きすると、平成14年、地域の多くの団体の方々のご協力で実現したとのこと。再度、驚いたのを思い出します。さらに、この頃、岡南

スケートリンクさんのご厚意で西門ができ、駐車場から直接出入り出来るようになったとのこと。保護者の方は今、大変助かっています。

岡山市でも先進的な学区であり、シニアスクール、保幼小中連携では、【0歳から15歳までの一貫した教育】に向けての取り組み、6校園の先生方との研修、行事などでの温かい交流。地域の方々も温かく協力的で、あいさつ運動、仲良し花壇の花植え、もちつき、豚汁作りなど助けていただいています。

平成28年度から保育園は、「幼保連携型認定こども園」として開園します。まだまだ、課題も多いと思いますが、いつも地域の方に助けられ、見守られてきた園だからこそ、今後も安心して、子どもたちの笑顔を絶やさぬように見守っていきたくと思います。

みんなちがって みんないい

岡南幼稚園園長 服部 みどり



子どもの発達には個人差があります。子どもには、そのとき、十分に時間をかけてやっておくこと、楽しんでおくことがあります。心ゆくまで堪能しては次の段階へと、一つ一つ越えて成長していきますが、その進み方は一人一人違っています。子育てに焦りは禁物です。長所は見えにくく、短所は目につきやすいものですね。でも、どんなに長所があつて

も、短所ばかり指摘されると長所は消えていってしまいます。長所をしっかりほめてあげてください。きっと短所は減っていきますよ。

子どもは遊ぶ楽しさや、毎日の刺激の中から、いろいろなことを感じ、考え、学び育っていきます。子どもの気持ちをまるごと受け止めて、話を聞き、ほめ、抱きしめ、声をかけ、励ましながら、信じて待つてあげましょう。きっと応えてくれるときがきます。

地域の方々も支えてくださっています。今後も、園と家庭・地域が連携しながら、みんなでの時期ならではの子育てを楽しんでいきましょう。

15周年! 「みどりの林檎」

10月25日(土)に今年度の「みどりの林檎」を開催しました。

みどりの林檎とは、命のフェスタであり、人権学習の場でもあります。この「みどりの林檎」が始まった15年前は交通安全の催しで、保幼小中地域を巻き込んだ大イベントだったようです。回数を重ね、内容も交通安全から国際理解や障害者理解へと広がり、現在では「いじめ」、「防災」、「交通」を三本柱として実施しています。

今年度のテーマは「交通」で、平成25年12月に道交法が改正されたことに伴い、自転車の安全について学習しました。普段、気軽に乗っている自転車も、ひとつ間違えば大事故につながる可能性があること、そして被害に遭うだけでなく、加害者になる恐れもあることを学びました。

当日は大阪から米村幸純さんをお招きし、『ぼくの方が青やったのに』と題した講演会を開きました。また、15年目という節目にあたり、これまでの「みどりの林檎」を振り返るDVDも作成、発足に関わった人たちからお話をうかがうなど、歴史を知る良い機会にもなりました。



「子育て in 岡輝 2014」

11月30日(日)岡輝中ランチルームにて、岡輝中学校区学校運営協議会主催の「子育て in 岡輝 2014」が開催されました。今回は講師に福本智恵子さんをお迎えし『正しい姿勢で集中力を高めよう』というテーマでお話を聴きました。講師の福本さんは、「美しい姿勢」と「しなやかな動き」づくりの専門家(コンディショニングトレーナー)で、岡山市内のフィットネスクラブで指導されながら、県内外の保育・幼稚園や小中学校で子どもと保護者向けの姿勢改善・健康教育の講演会講師をお務めます。

当日の講演では、ヒトはお母さんのお腹の中にいる時から姿勢づくりが始まっており、立って歩くまでの全ての運動(仰向け・寝返り・四つ這い・お座りなど)が姿勢づくりに大きな影響があること、姿勢という土台(=ヒトの基本機能)ができあがって運動能力が育っていくことを、ユーモアたっぷりに身振り手振りを交えて説明されました。

また最近では、自分の痛いところやわからない子どもや骨折する子どもが増えている現状もお話しになり、

○正しい姿勢・美しい姿勢・いい姿勢、そして楽な姿勢は同じにならないといけない。

○いい姿勢とは「姿」に「勢い」があること。

○姿勢と感情(心)はつながっている。など、日常のちょっとした動きやバランスを意識することで生活が変化する可能性があることを教えていただき、参加者は有意義な時間を過ごすことができました。

講演後にはココアがふるまわれ、皆さんが歓談する場面も見られました。来年度以降もこのイベントを企画します。多くの保護者や地域の方のご参加をお待ちしています。



「イメージアップ岡輝 2015」

平成27年1月31日(土)岡輝中学校ランチルームにて、イメージアップ岡輝2015が開催されました。このイベントでは、過去には中学生が地域の方や保護者と一しょに「協同学習」の授業を体験し「協同学習」への理解を深める取組も行いましたが、今回は昨年に引き続き、「HUG(避難所運営ゲーム)」を行いました。

参加者(約60名)は保護者・教職員・中学生以外に、町内会長さんなどの地域の皆さんで、所属や年齢を考慮して8つのグループに分かれ、講師の永井正博先生(岡山市教育委員会指導課)による説明後、ゲームを開始しました。

今回は『1月下旬の午前10時に岡山市全域に震度6強の地震が発生』という設定で行われ、参加者は平面図いっぱいに置かれたカードを1枚ずつ順にめくっていきます。様々な事情のカードをめくる度、その人たちを体育館や教室のどこに配置するかグループで知恵を出し合います。「通路がないと混雑する。」「足の不自由な方は校舎の上階は無理。トイレの近くに。」「近所の人同士はまとめて配置した方がよい。』などいろいろなアイデアが次々に出てくるのですが、100名を超す避難者の事情や要望をすべて聞き入れることは難しいようでした。途中で

永井先生から「急に雨が降ってきました。外で待機している人を急いで館内に入れてください。」という指示が出るなど、現実を想定しての取組になりました。参加者は年齢や立場の枠を越えてどんどん自分のアイデアを伝えていました。

約70分間カードに悪戦苦闘した後、各グループごとに意見を発表しました。「プールの水をトイレに活用すべきだ。」「インフルエンザなど感染症の疑いがある人は素早く隔離してあげることが必要。」「乳児のいる家庭は教室に配置してあげた方が気を使わなくてよい。』などの配置についての意見のほか、「避難者の要望すべてを受け入れることは不可能だ。」「実際にはこんなにゆっくり考えながらはできないのでとりまとめをするリーダーのストレスが心配だ。」「自分が避難者になったときにはわがママを言わず我慢しよう。』など、この体験を通じて初めて、理解できたり感じたりすることがあったようでした。

岡輝学区青少年育成協議会では、今後も岡輝学区の学校園・地域のために、様々な取り組みと行事を企画していきたいと考えています。ますますのご支援とご協力をお願いします。



岡輝中学校

長島愛生園で ハンセン病を学ぶ

2月20日(金)、岡輝中1年生が人権学習の一環として長島愛生園を訪れました。

清輝・岡南ともに小学校のときに学習しているとはいえ、実際に訪れるのは初めてのこと。教室で学ぶことも大切ですが、自分の目で見、耳で聴き、肌で感じることができ、また、見学する態度も非常に素晴らしく、実りある校外学習になりました。



岡南小学校

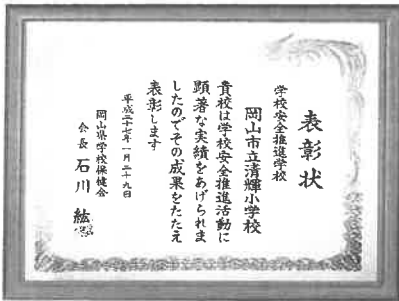
地震発生!! 保護者への児童引き渡し訓練。

1月17日(土)。授業中に震度5以上の大きな地震が発生した場合を想定し、保護者に児童を引き渡す訓練を初めて実施しました。引き渡し訓練の前には、児童と保護者が「地震が起こったときに安全に登下校するための防災学習」を教室で学びました。その後、児童は体育館に全員集まり、保護者が迎えに来るのを待ちました。保護者は教室で引き渡し方の説明を聞いた後、体育館で待っている全校児童のところに、迎えに行きました。初めての訓練でしたが、保護者の皆様の協力のおかげで大変スムーズに行うことができました。



清輝小学校

学校安全推進学校に 選ばれました



清輝小が学校安全推進学校として表彰されました。PTAあいさつ運動や、地域安全パトロールなど、地域と連携した取組や小学校での避難訓練の取組が評価されました。

11月には、清輝保育園や清輝児童センターと合同で地震・津波を想定し

た避難訓練を行ったり、1月には、岡山中央警察署からスクールサポーターの方を招いて、不審者対応訓練を行ったりしました。

地域や学校の安全、安心を目指して、これからも協力しながら取組を続けていきたいと思えます。

ファジアーノがきたよ!

「晴れの国トップアスリート派遣事業」で、ファジアーノの普及コーチが3名来てくださいました。サッカー教室を始める前にコーチと2つ約束をしました。「話をきく」と「あきらめない」です。おうちの方が応援してくれている中で、子どもたちは終始笑顔でボールを蹴ったり追いかけたりする楽しさやゴールを目指して試合するおもしろさを満喫したようです。



コーチとの約束である「あきらめない」という言葉は子どもたちの心に残っていて、今でも「コーチがあきらめたらいけんって言っとったじゃろ」と励ます姿が見られ、友達一緒にいろんなことに挑戦しています。

清輝保育園

楽しかったな! 「金のがちょう」を観てもらったよ!

1月27日(火)に、シニアスクール清輝の皆さんに、年長児が「金のがちょう」を観て頂きました。

観て頂いた後は音楽に合わせて肩叩きなどで楽しくふれあいました。いつもは園に来て頂いているので、今回のような機会は子ども達にとっても新鮮だったのではないかと思います。今後もいろいろな形で交流させて頂きたいです。



岡南保育園

光って目立てば 夜道は安全!

夜間の交通事故防止にむけたライトアップ岡山県民運動強化期間の1月19日(月)、5歳児が啓発活動に参加しました。県警の啓発キャラクター「LEDマン」と一緒に「LEDライトで夜の交通事故防止」などと書かれたステッカーを貼った路線バスで岡山駅前へ移動し、夜間のLEDライトや夜光たすきの利用を呼びかけました。



地域に支えられて — 幼保一体化へ向けての歩み —

岡南幼稚園・岡南保育園は、地域の皆様のお力添えで平成14年に境のフェンスが撤去される前から、隣り合う公立幼稚園・保育園として、少しずつ交流を積み重ねてきました。就学前教育として、同じ思いで子どもたちを育ていこうと連携を深めています。

その流れの中で、平成25年度、幼保一体化の取組対象園に指定され、平成26年度も引き続き幼保一体化へ向けた試行的取組を進めてきました。市との話し合いの中、様々な課題に直面しましたが、その都度、地域協働学校運営協議会の方々を中心となって、常に園の職員や保護者の思いを汲んで、子どもたちにとってよりよい方向で応援してくださいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

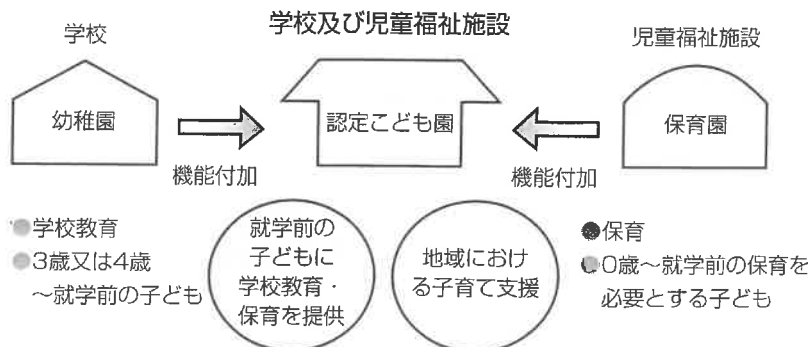
平成27年度は幼稚園・保育園のまま、幼保一体化へ向けた試行的取組を進めます。『幼保連携型認定こども園』としての運営は、平成28年度からとなります。幼稚園と保育園、互いのよさを併せつつ幼保連携型認定こども園として、同じクラスで教育と保育を一緒に受けたり、給食を一緒に食べたりして、一体的な生活をします。

これからも地域と園と家庭がしっかりとつながって子どもたちを見守り、一人一人に寄り添いながら笑顔あふれる元気な園づくりができればと思っています。

幼保連携型認定こども園とは

教育と保育を一体的に行う施設

幼稚園と保育園の機能や特長を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設です。



平成27年4月より子ども・子育て支援新制度がスタートします。これに伴い、幼稚園・保育園等の利用手続きが変わります。公立幼保連携型認定こども園・公立幼稚園(国立を除く)・認可保育園等の利用には、支給認定の申請が必要になります。

利用料金について

公立幼保連携型認定こども園……世帯の所得(市町村民税額)に応じた料金。

保育の利用の有無や保育を利用する長さによって料金が異なる。

岡輝中学校



にも「感謝」の気持ちが芽生えてくれることを願っています。

“働く”中学生 ～職場体験学習～

11月26～28日の3日間、2年生が職場体験学習を行いました。生徒たちは普段の学校生活では経験できない緊張感の中で真剣に取り組んでいました。事業所の方には、何も分からない中学生に丁寧に温かく対応していただきありがとうございました。生徒たちの心の中

大人になったら投票に行きます

1月21日、岡輝中2年生を対象に「選挙出前授業」が行われました。岡山県選管が中学校で出前授業を実施するのは今回が初めての試み。

「入場券」、「投票用紙」、「投票箱」などはすべて本物と同じものが用意され、シニアスクールの皆さんに投票事務をお手伝いいただき、本番さながらの投票を体験することができました。



岡輝 중학교에 잘 오셨습니다 (岡輝中学校へようこそ)

1月28日、韓国・大邱広域市の虎山高校の先生方20名が、協同学習の視察で来校されました。今回で三度目となる韓国からの視察は、2年A組の英語を同時通訳の無線機を使い熱心に参観されました。岡輝学区で取り組んでいる協同学習が日本国内だけでなく海外からも注目されています。



今年も盛況!公開授業研究会

2月9日、今年度3回目の公開授業研究会が行われました。県内外から100名を超える参加者に見守られ、1年C組が国語の授業で「少年の日の思い出」という物語を学びました。授業者である池田先生の「気になる部分はどこ?」という問いかけに、生徒たちは本文に線を引きながら何度も読み返し、物語を深く味わいました。



清輝小学校

スケートを楽しむ会

毎年恒例となっているPTA行事、「スケートを楽しむ会」が、1月24日(土)に岡山国際スケートリンクで行われました。初めは、手すりにつかまってゆっくり進んでいた子どもも、慣れてくるとリンクの真ん中あたりをスイスイと滑っていました。やはり、子どもたちの上達は早いな～と感じました。今年度は参加者も多く、子どもも大人も一緒に楽しい時間を過ごすことができました。



三宅 星南くん 世界チャンピオン!



岡輝中1年生の三宅星南くんが2月上旬に行われた全国中学校スケート大会においてフィギュア男子で準優勝に輝きました。

さらに2月下旬にオランダで開催された国際大会「チャレンジカップ」の男子アドバンスドノービスでは、とうとう頂点に立ち初の国際タイトルを獲得しました。

学校では休み時間に読書している姿が印象的な彼ですが、そんな普段の物静かなようすからは想像もできない偉業を成し遂げました。きっと、その内に秘めた闘志で、ジュニア世代に上がる来季も世界に羽ばたくことでしょう。

頑張っている人たち

岡山県中学校体育連盟 優秀選手



会長表彰(新体操)
水野 智菜美さん



部長表彰(バスケットボール)
大村 詩音さん

3年生の2人が岡山県の優秀選手として表彰されました。水野智菜美さん(新体操)は会長表彰、大村詩音さん(バスケットボール)は部長表彰。

水野さんは「周りの人に感謝することを学んだ」と、大村さんは「仲間の大切さを知ることができた」と語っています。高校進学後も競技を続ける2人をこれからも地域で応援していきましょう。



山陽新聞より転載

犯罪のない安全・安心まちづくり知事表彰 功労賞 筒井 暉久さん(清輝学区地域安全パトロール隊相談役)



平成16年12月に発足した「清輝学区地域パトロール隊」で、今まで7年半の間、隊長として活躍してくださった筒井暉久さんが、このたび表彰されました。

初めは、「この学区を良くしよう」という思いからスタートし、町をきれいにするために落書きを消す活動を進めていく中で、連合町内会が中心となってパトロール隊結成に至ったそうです。

現在は、月に数回、夜間の巡回を行うなど、防犯、交通事故防止の両観点から活動を実施しています。

今年度は、隊長を退かれて相談役となりました。「これからも、地域や学校とコミュニケーションをとりながら楽しくやっていきたい。」とおっしゃっていました。私たちの生活が、本当に様々な人に支えられていることを実感しました。

坪井 遥司君 新しい世界へアキセルジャンプ!

岡南小学校から岡輝中学校、岡山芳泉高等学校そして岡山大学と、岡山の地(岡山国際スケートリンク)で競技を続けることにこだわった、坪井遥司君が第一線を退くという。

彼と年齢の近い岡輝中学校の卒業生達にとっても、ともに時間を共有した一瞬をお互いに振り返っているのではないだろうか?

今春岡山大学を卒業して、新しいステージで再び輝くことを願ってやまない。



山陽新聞より転載

ボランティアで読み聞かせ 高島 知子さん(清輝小学校学校支援ボランティア)



清輝小学校では、朝の読書タイムの時間に、学校支援ボランティアの高島知子さんが、読み聞かせをしに来てくれます。読み聞かせを始めてもう8年ほどになりますが、お子さんが卒業されても、定期的に学校へ足を運んでくださっています。

「何か学校のお手伝いをしたいと思い、読み聞かせならできる。」と思って始めてくださったそうです。どの学年にも入ってくださり、子どもたちの成長の様子が分かって嬉しいし、子どもたちから声をかけられるのがとても楽しいとおっしゃっていました。

子どもたちだけでなく、職員も楽しみにしています。これからもよろしくお祈りします。

清輝児童センター

6月「ふれあいまつり」、10月「デイキャンプ」、12月「クリスマスこどものつどい」など、地域を挙げての大きな行事から、日頃のスポーツ・文化的行事や子育て支援活動など地道な取り組みまで、さまざまな活動を通して子どもたちの「居場所」として、子どもたちを温かく見守り続けてきた清輝児童センター。子どもや地域との30年以上もの関わりを通して、現在は子どもたちの意識の中で、「ちょっと時間が空いたからセンターに行ってお遊ぼう」、「センターで〇〇をして遊ぼう」と、誰もが気軽に、そして目的を持って利用される施設となっています。そんな児童センターの職員のみなさまに、児童センターの今後についてお話をうかがうと、「これからも変わらず子どもたちが安心できる遊び場となることを心がけていく」ということ、「いつまでも子どもたちの心の拠りどころでありたい」ということを話して下さいました。

取材：岡輝中教諭
藤井 英雄



ハートふれんず

「いくせい」～笑顔いっぱいの地域に～

岡輝地区青少年育成協議会とは？

岡輝地区青少年育成協議会は、この地域に住むすべての子どもたちが心身ともに健やかに成長することを願ってさまざまな取り組みを行っています。

岡山市では、各地区の育成協議会に「巡回補導部」、「環境浄化部」、「健全育成部」、「広報研修部」の4部署を設けるようになっていますが、岡輝地区ではこの4部署に加え「地域連携部」という独自の部署を設けていることが他地区とは異なる大きな特色です。そして、この地域連携部が中心となり、育成協議会が主催または他団体との共催・後援という形で「イメージアップ岡輝」や「つながれ岡輝」といった地域行事が催されているのです。

今年度からは公民館行事の「夕涼みの会」にもタイアップしました。

また、既存の4部署の活動としましては「サマーグリーン作戦」や「人権学習会」、小学校単位で行う「プール納め会」、学区内補導活動などがあります。

さらに、これらとは別に「町別懇談会」にも力を入れています。このように育成協議会では、この岡輝地区に住む子どもたちはもちろん、地域の大人からお年寄りまですべての人が笑顔で喜らせるような地域づくりに取り組んでいます。

これからも、岡輝地区が笑顔いっぱいの地域になることを目指してみんなで盛り上げていきましょう。

(文責：事務局 藤井英雄)

人権学習会×映画鑑賞会

平成26年10月20日(月)に人権学習会が開催されました。毎年、この時期の学習会は映画鑑賞会を企画しており、今年度は錦織良成監督の「白い船」を鑑賞しました。島根県平田市の小さな塩津小学校と、沖合に行く大きなフェリーとの心温まる交流実話を題材にした物語。

「あの大きな船に乗りたい」と願った小さな小学校に通う子どもたち。その願いに「船に乗せてあげたい」と誓った大人たち。そんな子どもと大人の夢を叶えようとする素直な心と優しい気持ちの可能性を描いた感動ストーリーでした。

この映画鑑賞会は、参加した人の心を揺さぶり、考えさせられる内容の映画が毎回取り上げられています。

ぜひ来年度もふるってご参加ください。

《参加者の感想》

- ・子どもの夢に温かい気持ちになりました。いい作品でした。
 - ・学校と地域のコミュニティーが深いほど、子どもは貴重な人生体験ができるのだなと思った。
 - ・のつながりや温かさを感じることができる作品だった。
- 大切にしたいことが何か、日々の中で見えにくくなりがちですが、思い直すことができました。



人権学習会

平成27年2月6日(金)に福祉交流プラザ岡輝において人権学習会(講演会)が開催されました。講師として川崎医療福祉大学や倉敷芸術科学大学などで非常勤講師をされている杉山嘉弘先生をお招きし、「子どもの発達と家族の役割～子どもの人権を中心として～」と題したお話でした。杉山先生の実践的な事例を挙げて、子どもと大人の関わり方などについての熱気ある講演に参加者も引き込まれていました。自己判断テストなどもあり参加型という形式が参加者にも好評でした。杉山先生が提唱される「人間関係づくり10ヶ条」をご紹介します。

「人間関係づくり10ヶ条」

1. 肌の触れ合いをしよう。(握手、添い寝、抱っこやおんぶ、ストロークトレーニングを取り入れること等)
2. 温かい声かけをしよう。(名前を呼んで、あいさつをして、言葉を添える。)
3. アイコンタクトを大切に、笑顔で暮らそう。(愛を伝え、愛を受け止める姿。)
4. 少しの時間でも子どもと遊ぼう。(遊び合いを通して出会い関係と権威尊敬心服関係を形成。)
5. 子どもの話を心を込めて聴こう。(うなずきながら受け止め、気持ちをわかろうとする。)
6. 褒める、認める、感謝する。(自己受容の感情が高まり意欲が起きる。)
7. 教える、提案する、頼む、励ます。(価値観を早い時期から教える。4歳が嫌の臨界期。)
8. 任せて見守り、して見せる。(自主性や主体性を育て、自立を促す。)
9. 人権や命や法を犯す言動には毅然と叱ろう。(正義を実践する親の気遣い。)
10. 共にリラックスしよう。(ストレスを発散し、情緒が安定し、他者受容の感情が高まる。)

サマーグリーン作戦 思い出の写真



今、注目されています！

高齢化社会の注目すべき取組として、昨年末は岡山市保健福祉局、2月には東京都健康長寿医療センターより視察がありました。

- ◆シニアスクールで介護予防
心身ともに健康で美しく生きよう

シニアスクールはこんな所だよ！

- 学校の空き教室を借り、学校と同じように時間割にそって9教科の勉強をします。
- 元小中学校等の先生が、テストなし、宿題なし、指名なしで楽しい授業をします。
- 子どもと同じ給食を食べます。
- 4月に始まり、子どもたちと同じように入學式、夏休み、運動会、学習発表会、遠足、修了式などもあります。
- 三世同居の雰囲気の中で学校生活を送っています。
- 友だちをつくりたい、規則正しい生活をしたい、学びたいなどの思いを充足することで、認知症の予防には最適な場所になっています。



入学式



授業（図工）



講師会



子どもとの交流



学習発表会



遠足

岡輝学区の自慢 シニアスクール

27年度
生徒募集中！！

いつでも入学できます

平成15年9月、新しい学校の在り様を求め全国初のシニアスクールを岡輝中学校で試行開校しました。以来12年目を迎え、本年度も多くの人に支えていただきながら、3校で50名以上のシニアの方々が学びあっています。「生きることとは学ぶことである」という生き方、そして各校においては児童生徒との繋がりを通して、穏やかな学習環境を作っています。3教室ともそれぞれ特色がありますので、お問い合わせの上、ご入学ください。

シニアスクール開校場所

- 岡輝教室 … 岡山市北区岡町 12-17 岡山市立岡輝中学校内
- 清輝教室 … 岡山市北区新道 1 岡山市立清輝小学校内
- 岡南教室 … 岡山市北区岡南町 2-4-5 岡山市立岡南小学校内

授業について

- 岡輝教室 … 週3日【月・水・金】 ●清輝教室 … 週2日【火・金】
- 岡南教室 … 週1日【金】
- 授業時間 … 原則として1日5時限【午前中4時限（2・3教科）午後1時限】
- 履修科目 … 国語・社会・数学・理科・音楽・美術・家庭科・保健体育・英語
- 子どもと同じ給食あり（実費）
- 子どもたちとの交流を目的としたもの … 交流会・文化祭・運動会・総合学習
- 研修旅行・遠足の実施
- 教育問題、時事問題や健康についてなどの特別講座あり

講師について

- 各教科4～5名 現在32名の優秀な講師陣

必要経費（給食費・遠足費/別）

- 授業料 … 岡輝教室 年間4万円（月4,000円 10ヶ月分割払い）
清輝教室 年間3万円（月3,000円 10ヶ月分割払い）
岡南教室 年間2万円（月2,000円 10ヶ月分割払い）



山陽新聞2013年2月9日号掲載

シニアとは…

シニアスクールにおける“シニア”とは、年長者、人生経験者という意味です。学ぶ気持ちと、活動する意欲を持っている方を募集しています。

お申し込み用紙は、お近くの公民館にあります。



特定非営利活動（NPO）法人 **子どもたちと共に学ぶ教室シニアスクール**

〒700-0867 岡山市北区岡町12-17 [岡山市立岡輝中学校内]
TEL.086-232-0056 (事務局) FAX.086-224-0359 (岡輝中)

頑張る学校応援事業優良実践校認定にあたって…

子供達の登下校見守りについて

老人クラブ連合会 会長 兼坂 祐造

「おはようございます」、「いってきます」と、可愛い元気な声が交差点付近の危険な道路に旗を持って交通整理見守りの中の顔に笑顔が浮かびます。高齢者は気力・体力ともに衰え、皆さんのご期待に添えるかと心配しながら頑張っています。孫は可愛くて目に入れても痛くないとの謔もありますように、高齢者にとり孫のような子供に朝夕の挨拶を通じて絆が生

まれます。また地域と学校に付き添う人たちは、子供たちに遅れないように小走りで手をつなぎあい、歩きながら昔話や世間話等しながら笑顔いっぱいです。家族構成が乱れがちな現在、我々高齢者は地域でのおじいさん・おばあさん役として微力ですが、我々を見守り育ててくれた先輩の皆さん達への恩返しをしたいと思います。

「読み聞かせボランティアとして」

岡南小学校読み聞かせボランティア 恩地 晴美



我が子が生まれてから楽しい絵本に出会いました。子どもは絵本を読んでもらうことが好きだと思っていますが、私は60歳を過ぎた今でも絵本の魅力にはまっています。現在、岡南小学校と岡南幼稚園に読み聞かせに行かせていただいています。小学校に行き初めたのは平成15年の12月からなので12年目になります。

その後、幼稚園へも行くようになりました。幼稚園を卒園した子どもたちを小学校で迎えたいと思ったからです。嬉しいことに校内で道で、子どもたちから「おんじさん」と声をかけてもらいます。子どもたちが読み聞かせの時間を楽しみに待っているの、岡山県子ども文庫連絡会の会員として仲間と勉強しながら、これからもよい絵本を読み聞かせていきたいと思っています。

「僕ら大人は君たちの応援団！」

岡輝地区青少年育成協議会 広報部長 高田 充巳

岡輝学区の子供たちには、好きな事を見つけ、夢に向かって何事も本気で取り組んで、楽しんでほしいと願っています。私たち大人は子供たちからエネルギーをもらって、本気で関わりあっていきたいと思ひます。

好きなことをずっと続けていれば、いつかそれが仕事や人や出来事など、対応に何かにつながります。無駄なことはひとつもないと思ひます。

未来のリーダーになる岡輝の子供たちには、日頃は地道に努力し、時に

は少しだけ羽目を外したり、わがままを言ったり、大きな夢を抱いてもいいかもしれないよ。夢は夢で抱き、それがかなうかどうかなんて二の次。悩むより先にチャレンジする…
いつだって応援しているからね!



「ちくたく」について願う事

学運協地域部 酒井 淑

ちくたくが発行された時、岡輝中は今までの悪いイメージから良いイメージの学校へと変わってきていた頃だったと思ひます。

学校を変えるためには私たち保護者の力だけでは限りがあるという事で、地域の方々にも学校へ来ていただけるように大きなイベントも行いました。

「命のフェスタ」がその一つです。岡輝中の運動場に交通に関する機械を持ち込み幼稚園・小学校・中学校の子ども達、そして地域の方々にも多

数、参加していただき命の大切さについていろいろな体験を行いました。

そういった地域の方々子ども達を見守って下さっている交流の記録や、地域の行事、がんばっている子ども達の紹介の記事など、今までの岡輝学区のすべてが詰まった「ちくたく」をどんな形でもいいのでこれからも発行してほしい、それが1人の保護者としての私の願ひです。

岡輝中学校区のサポーターとして

学運協地域部 渡邊そのえ

私は7年前に他県から岡輝中学校区へ引越して来ました。

転勤者なのだから自分から前向きに参加しなければ…と、学校やPTAの行事にも積極的に関わり、おかげで楽しい思い出とたくさん友人ができました。でも今考えると、それは「岡輝中学校区だったから」できたこと、ちくたくさんありました。「つながること」「受け入れること」「協同学習」

などを通して生徒さん達、保護者の皆さん、地域の皆さんへと学校が発信してきたメッセージは少しずつ浸透してきたように感じます。だからこれからも応援しています。



岡輝中学校区へ想いを馳せて

学運協地域部 堀江由貴子

岡輝中学校区で生まれ育った私は、世間でいう「地元の人」となると思ひます。結婚して2年程他の地域で暮らしてみても、岡輝学区がとても便利で住みやすく温もりのある地域だと改めて思ひました。今だに昔の学校の悪さが話題に出ますが、保護者として見た学校は全然違い、とても良い雰囲気になっていました。子供が大きくなり学校に行く機会が少なくなる

と急に地域の事がわからなくなります。どのように地域の事を知るか、どんな関わりを持てるか、地域の人として何が出来るか、まだ何も答えが出ていません。今まで私が周りの方にして頂いた事を思い出し、少しずつでもお役に立てる事があればさせて頂こうと思っています。

岡輝中学校区の魅力



写真:左から
井上 義浩さん(岡輝中学校昭和58年度卒業)
長女の琴愛さん(現、岡南小4年生)
長男の翔愛君(現、岡輝中2年生)

この岡輝中学校区に親子二代に渡って学生生活を過ごされてきた井上 義浩さんご家族に「岡輝中学校区の魅力」をお伺いしました。

Q.井上さんのお子さんもお父さんと同じ、岡南幼稚園、岡南小学校、岡輝中学校に通われているとお伺いしました。

何か親子で感じる事があれば教えてください。

A.同じ学校に通っているため、共通の話題や、校歌を一緒に歌ったりできるのはいいものです。

Q.この岡輝中学校の魅力、子育てしてきてよかったと感じたことや、これから岡輝中学校区がどうなっていくしてほしいかなどをお聞かせください。

A.岡輝学区の魅力は、中心部からも近く、交通、お店等、とても便利がいいことだと思います。

子育ての面でも昔から住んでるため、近所の方も大体知っていて、子供たちも自然と顔見知りになり、挨拶等の声掛けをしてくれ、コミュニケーションがはかれています。

しかし、年配の方が増え、子供たちが少なくなっています。もっと、たくさんの子供たちが元気に遊ぶ声が聞こえる活気のある学区になってほしいですね。

取材：岡南小PTA文化部 山本

第9回 つながれ岡輝! 2015



平成27年3月7日(土) 10:30。
 いよいよスペシャルライブが
 はじまりました。
 中西圭三さんの声量に
 圧倒されました。
 曲間の熱いメッセージは、
 岡輝中学校区への
 力強い応援と
 心に刻みました。



中西圭三さん&小西貴雄さんの
 スペシャルLIVEが始まると、
 体育館は興奮のつぼとなりました。
 『ぼよん行進曲』がはじまると、保幼の子どもたちは
 一斉に踊り出しました。



オレンジリボン運動に
 協力します。

中西さんと小西さんも
 CDへ生サインをしてくださいました。



子ども虐待防止 オレンジリボン運動
www.orangeribbon.jp



『ぼよん行進曲』で
 大きくジャンプ!!



岡輝中生徒と一緒に



司会を頑張りました。



シニアスクール岡南教室



保育園・幼稚園 合同の踊り



岡山南高校 生活創造科



岡南学区婦人会



清輝小学校3年生



岡南小学校 吹奏楽部



岡輝中学校 吹奏楽部



岡山南高校 吹奏楽部



3校合同演奏



合同演奏 with 中西圭三



岡山南高校 応援部と共に



岡輝中学校生徒会